

ケルヒャー 業務用 スチームクリーナー DE 4002 プラス



※本体が温かい状態では安全バルブは開きません。

※この商品は組み立てが必要です。

※作動テスト後出荷されているため水分が多少残っている場合がありますが、
製品の性能に問題はありません。

この度はケルヒャー商品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

● もくじ

1	安全上の注意	3～8
2	仕様	9
3	標準装備品	10
4	各部名称	11～13
5	取り付け	14～19
6	操作方法	20～25
7	終了	26～27
8	洗浄ポイント	28
9	トラブル対応	29
10	お手入れ	30～31
11	保管	32
12	ユーザー保証について	33

1 安全上の注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で注意事項を説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



注意

洗浄は自己責任にて行うこと

万一洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

警告



スチームを人体に向けて使用しないこと
ヤケドの原因になります。



子供には触らせないこと
ケガをする恐れがあります。



延長コードは 15 アンペア仕様を使用し、10 m 以上延長しないこと
規格以下の延長コードを使用した場合、火災の恐れがあります。最長 10 m でご使用ください。



コードリールは完全に伸ばして使用すること
コードリールのコードを巻いたまま使用すると、熱を帯びて電源プラグが溶ける恐れがあります。異臭がした場合には直ちに使用を中止すること。



たこあし配線はしないこと
複数の電気製品を同じコンセントで使用した場合、ケーブルがショートして火災、感電の恐れがあります。



改造禁止
火災、感電、ケガの原因になります。
ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。



アースは必ず接続すること
感電する恐れがあります。水道管やガス管には絶対に接続しないでください。爆発や引火の恐れがあります。



ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する恐れがあります。



汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。



警告



安全バルブは使用中触らないこと

絶対に使用中に安全バルブの上に手を当てたり、覗き込んだり、外したりしないでください。

ボイラーが故障した場合スチームを噴出する場合があります。



安全バルブを開ける場合は、十分冷めてから行うこと

安全バルブは、本体が人肌以下まで冷却された後開けてください。

熱い状態で開けた場合湯が噴き出し、ヤケドの原因となります。



安全バルブのOリングを確認すること

メンテナンスの際、取り外すごとに確認をしてください。

Oリングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。



常温水を使用すること

湯を入れた場合、ヤケドを負う場合があります。

安全上必ず常温水を使用してください。



本体、電源プラグに水をかけないこと

感電する恐れがあります。



雨天時に屋外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと

絶縁、劣化により感電の恐れがあります。



火気のそばに置かないこと

本体が変形し発火の恐れがあります。



修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと

個人の修理は事故のもとになる恐れがあります。

警告



電源プラグは確実に差し込むこと

コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、ショートし、発火する恐れがあります。



電源プラグが変形している場合は使用しないこと

電源プラグが変形していたり、電源プラグの歯が曲がっている場合は、発火する恐れがあります。



交流 100V 单相電源専用

異種電圧で作動させた場合、火災の恐れがあります。
ラベルに記載された電源でご使用ください。



コードを引っ張らないこと

引き抜くときは先端のプラグを持ってください。
コードが損傷すると、感電やショートを起こし火事を引き起こす恐れがあります。



スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと

感電する恐れがあります。



500 作業時間ごとに定期点検を実施すること

例：1日3時間使用する場合：半年に一度有償点検の実施
点検を実施しない場合安全バルブからのスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じ安全作業ができなくなります。



故障時に安全バルブが作動することがあります

安全に作業を行うための安全装置としてボイラー圧力が高くなるのを防ぐための圧力逃がし弁が安全バルブに組み込まれています。
万一の故障時や定期メンテナンス不備によるボイラー内部へのスケール付着などによりボイラーに組み込まれた他の安全装置が作動不良となった場合、ボイラー内部の圧力が異常に高くなり、この際安全バルブの圧力逃がし弁が作動し蒸気を勢いよく上方に吹き上げます。
絶対に安全バルブの上で作業を行ったり、近づいたり、覗き込んだりしないでください。ヤケドの恐れがあります。

注意



アクセサリーは確実に取り付けること

確実にロックされていない場合スチームがもれ、ヤケドの原因となります。



アクセサリー接続口のOリングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと
スチームがもれ、ヤケドの原因となります。



クロスクリップに指を差し込まないこと

クロス脱落防止のためクリップは鋭くなっています。
指を差し込まないでください。



作業場所から離れる場合はスイッチを切ること

使用方法を知らない方が操作された場合ケガをする恐れがあります。



保護のため手袋を着用すること

部分洗浄などの作業時は直接スチームが手にかかる場合があります。
ヤケド防止のため保護手袋を着用してください。



給水は必ず給水タンクから行うこと

安全バルブを開けボイラーに直接水を入れしないでください。
ボイラーの水が多く入りすぎ準備時間が長くなったり加熱が始まらない場合があります。



洗浄前に材質を確認すること

洗浄の前に必ず洗浄物の材質をご確認ください。

スチームは100℃近い温度で出ます。

洗浄部分の材質によっては変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。
目立たない部分で試してください。

注意



水以外の液体は使用しないこと

溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）、アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合本体が壊れる場合があります。水のみで使用してください。



蒸留水は使用しないこと

蒸留水を使用した場合、ボイラーの水位センサーが作動せず水があふれる原因となります。



洗剤や薬品を入れないこと

洗剤や薬品を入れた場合、ボイラーの破損、薬品火傷、健康に悪影響を及ぼす場合があります。水のみでご使用ください。



ガラス製品に傷がある場合は洗淨しないこと

割れる場合があります。



窓ガラス、鏡の掃除には注意すること

- 2秒以上同じ場所にスチームをあてないでください。
- ワイヤ入りガラス、厚板ガラスの掃除は特にご注意ください。ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があり、ケガをする恐れがあります。



本機は使用50時間ごとにスケール除去を行うこと

スケール（湯あか）がたまると故障の原因となり安全バルブの弁が作動する場合があります。

必ず純正ボイラー洗淨剤（スケール除去剤）を用い定期的にボイラーの洗淨（スケールの除去）を行ってください。



レバーロックをかけること

アクセサリーの着脱はレバーをロックした状態で行ってください。ロックされていない場合スチームレバーに誤って触れスチームが噴出しヤケドを負う場合があります。

2 仕様

DE 4002 フラス	
電源	AC 100V 50/60Hz 共用
ヒーター出力	1,500ワット
圧カスイッチ作動圧力	0.50MPa
スチーム吐出圧力	0.32MPa
安全弁作動圧力	0.55MPa
ボイラー加熱温度	145℃
ボイラータンク容量	2.4 リットル
サブタンク容量	2.2 リットル
ヒートタイム (スチーム準備時間)	約15分
寸法 (長さ×幅×高さ)	480 x 305 x 260(mm)
質量	7.5 kg
交換時間	
安全バルブ用 Oリング	約200 時間
安全バルブ	約500 時間
圧カスイッチ (内部構成部品)	約500 時間
本体寿命	約1,000 時間

※仕様は、開発・改良により予告なく変更する場合があります。

※1 1MPa = 10.2 kg f / cm²

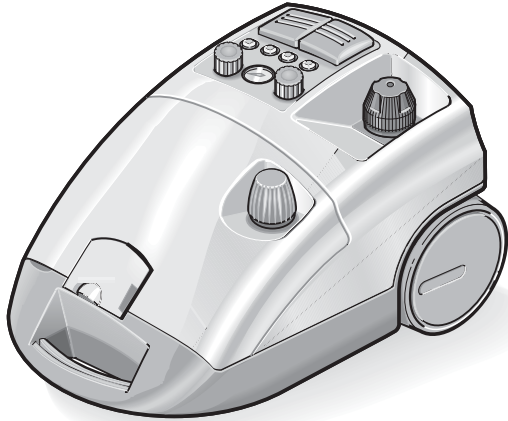
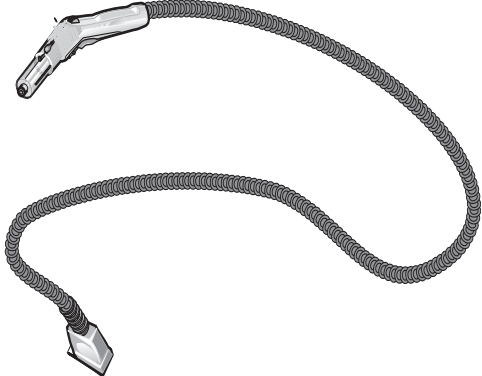
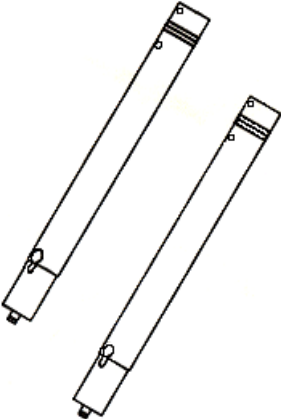


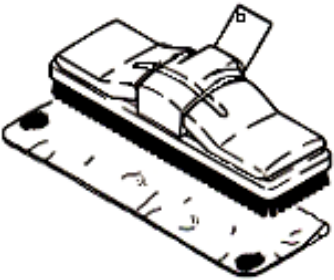



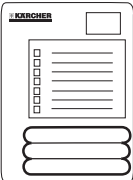

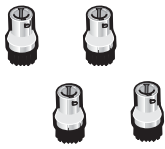
※2 水温20℃の際の仕様

※3 保温状態での累積時間

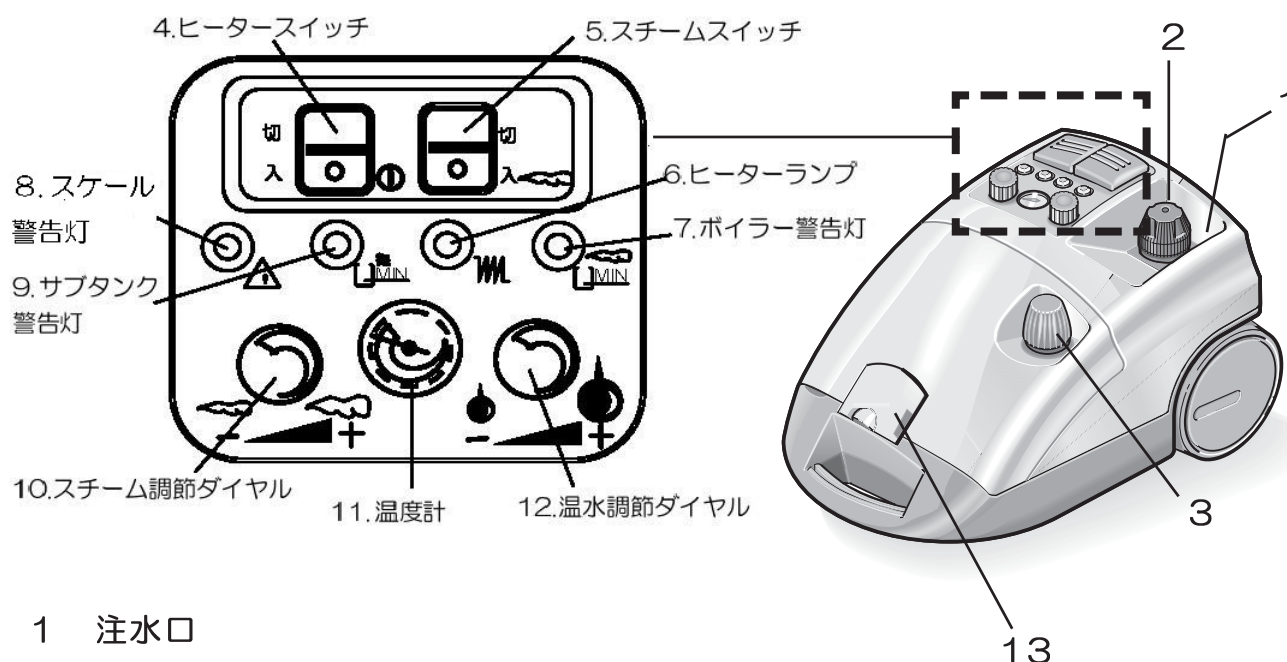
※4 直接給水時の容量

3 標準装備品

※本機をご使用いただく前に、全ての付属品がそろっていることをご確認ください。
 ※仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。

 <p>DE 4002 本体</p>	 <p>ホース一体型ヘッド</p>		
 <p>延長パイプ (2本)</p>	 <p>ハンドブラシ (1個) カバー (1枚)</p>	 <p>ノズルヘッド (1個)</p>	
 <p>フロアブラシ (1個) クロス (1枚)</p>	 <p>延長ノズル (1個)</p>	 <p>スポットノズル (1個)</p>	 <p>じょうご (1個)</p>
 <p>RM511 ボイラー洗浄剤 (スケール除去剤) (3本)</p>		 <p>真鍮ブラシ (3個)</p>	 <p>ブラシ (4個)</p>

4 各部名称



1 注水口

2 安全バルブ

ボイラー温度及び圧力が規定以上に上昇すると、空回りして開けることができません。安全バルブの寿命は約500作業時間です。安全バルブに付いているOリングの寿命は約200作業時間です。損傷している場合には必ず交換し作業を行ってください。

3 サブタンク キャップ

サブタンクに水を補給する際を開けてください。

4 ヒータースイッチ

“入” ボタンを押すとランプが点灯し、加熱が始まります。
“切” を押すと加熱が止まります。

5 スチームスイッチ

“入” ボタンを押すとランプが点灯し、スチームレバーを握るとスチームを吐出できます。
“切” ボタンを押すとスチームの吐出が止まります。

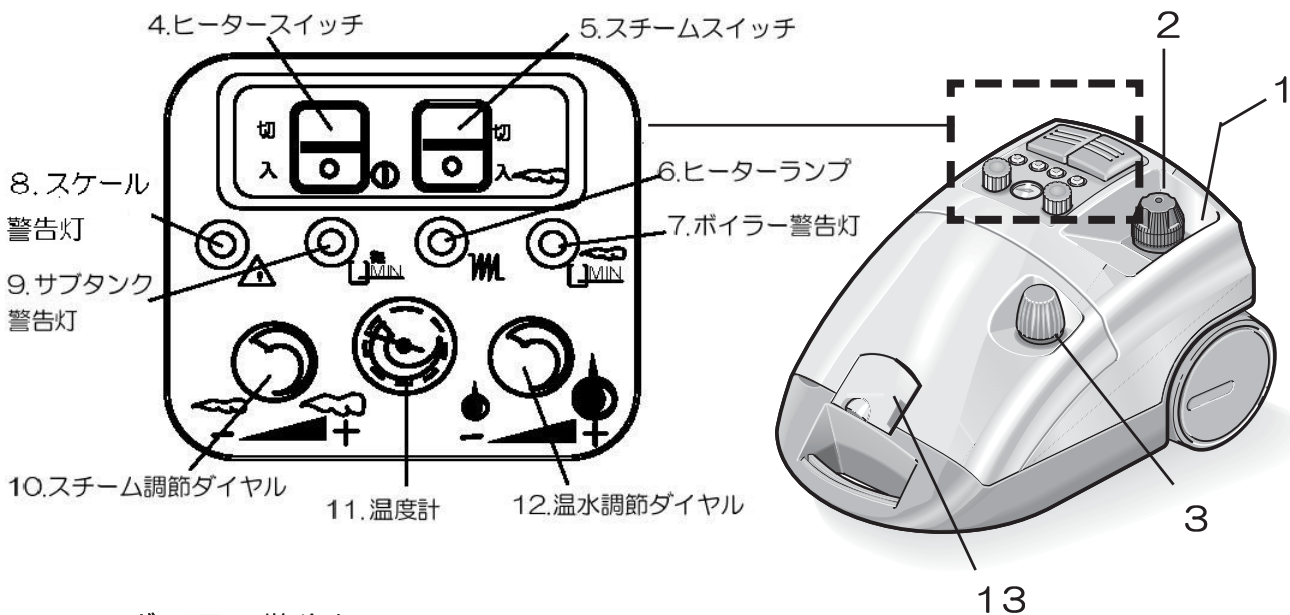
6 ヒーターランプ

ヒータースイッチの“入” ボタンを押すと、ランプが点灯します。
加熱が完了すると消灯します。



注意

作業時間とは、保温状態の累積時間です。



7 ボイラー警告灯

タンク内の水が少なくなると点灯します。

続けてお使いになりたい場合には 23 ページを参照し水を補給してください。

8 スケール警告灯

本体ボイラー内部にスケール（湯あか）が付着することを防ぐために、50 作業時間ごとに点灯します。点灯した場合には、30 ページのスケールの除去を参照しメンテナンスを行ってください。

9 サブタンク警告灯

サブタンクの水が少なくなると点灯し、ブザーが鳴ります。

10 スチーム調節ダイヤル

ダイヤルを回すとスチームの出る量を調節することができます。

注意：約一回転します。回し過ぎに注意してください。

11 温度計

針がグリーンゾーンにある場合作業ができます。

針がグリーンゾーンより下がった場合には加熱が必要です。使用を 2～3 分停止し針がグリーンゾーンに戻るまで作業を休止してください。

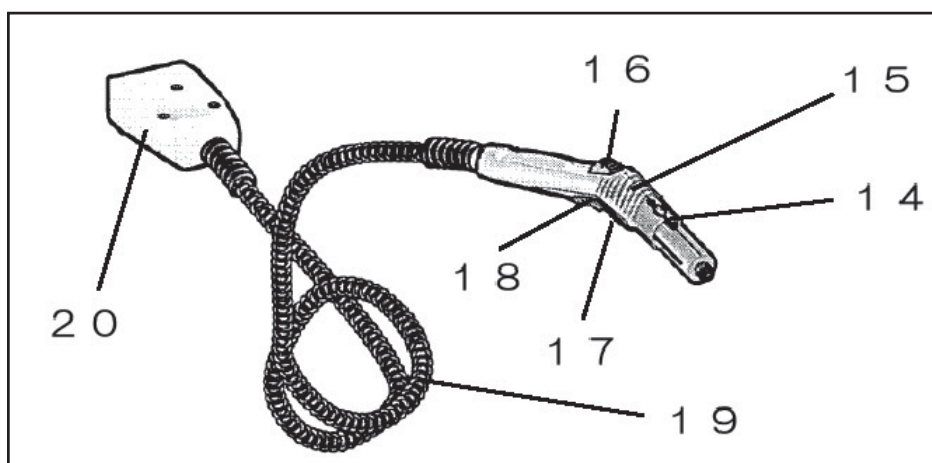
12 温水調節ダイヤル

ダイヤルを回すと温水の出る量を調節することができます。

注意：約一回転します。回し過ぎに注意してください。

13 本体ソケット

ホース一体型ヘッドの接続プラグを差し込みます。



14 ロックボタン

取り付けた付属品（ノズルヘッドなど）をロックします。

ロックボタンを押した状態で、付属部品の取り付け、取り外しができます。

15 スチームガン

ノズルヘッドやフロアブラシなどの付属品を取り付けて、または何も取り付けない状態で使用できます。

ロックボタン（14）、吐出量調整ダイヤル（16）、スチームレバーロック（17）、スチームレバー（18）が取り付けられています。

16 吐出量調節ダイヤル

ダイヤルの位置でスチームの吐出量を調節できます。

17 スチームレバーロック

スチームレバー側に引いて（→の方向に）ロックすると、スチームレバーを握ることができなくなります。反対方向に押すとロックは解除されます。

作業場所から離れる場合、作業を終了する場合には、必ずスチームレバーをロックしてください。



18 スチームレバー

握るとスチームが吐出します。

19 スチームホース

20 接続プラグ

本体ソケットカバー（13）を開けて、本体に接続してください。

5 取り付け

確認

本体外観に損傷がないか確認してください。

電源コードや電源プラグの歯に傷や変形などがなく確認してください。

接続パッキン（Oリング）に損傷がないか確認してください。

安全バルブにゴミが付着していないか確認してください。

安全バルブのOリングは200 作業時間ごとに交換してください。

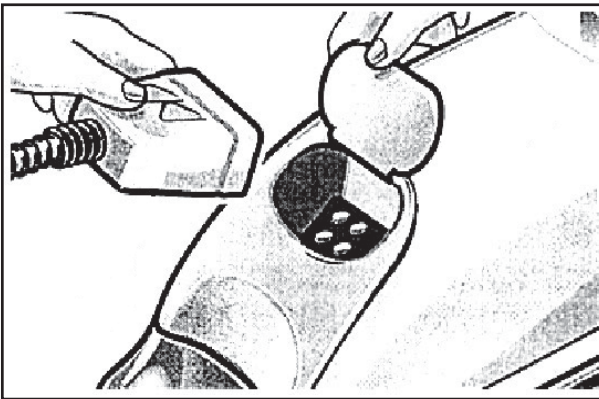
安全バルブは500 作業時間ごとに交換してください。

本体の寿命は1000 作業時間です。

1000 作業時間時には必ずケルヒャーのメンテナンスを受け安全に作業が持続できるか確認作業を依頼してください。

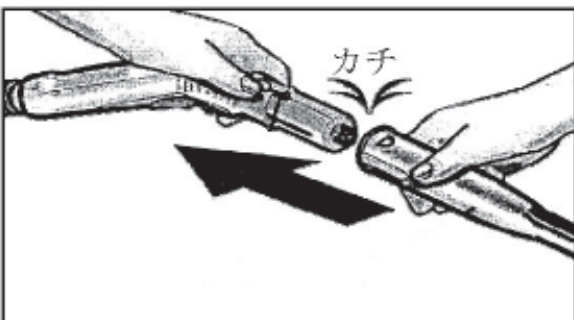
準備

■ 本体接続プラグの取り付け



本体ソケットカバーを開けて本体接続プラグを奥までしっかり差し込んでください。

■ ノズルヘッドの取り付け



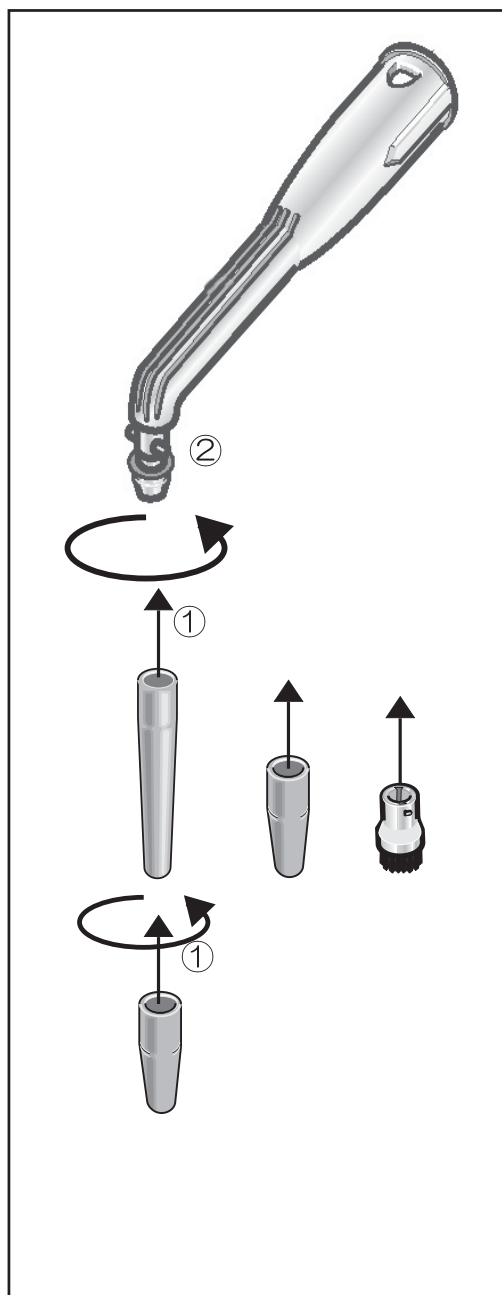
スチームホース先端にノズルヘッドを差し込んでください。

ロックボタンの爪が固定されると‘カチ’と音がします。

取り外し方

ロックボタンを押しながら引き抜いてください。

■ ブラシ / スポットノズル / 延長ノズルを使用する場合



取り付け方

ノズルヘッド先端の突起部分へブラシ、スポットノズル、延長ノズルの挿入部分の刻みを合わせた後、差し込み、時計回りにねじって留めてください。

取り外し方

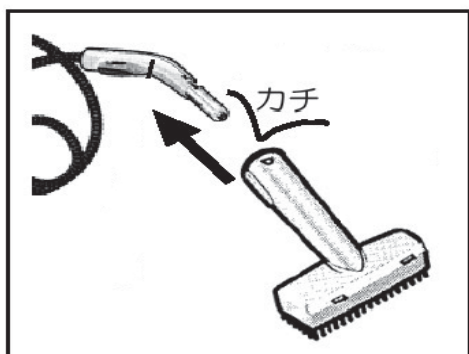
取り付けたアクセサリを反時計回りに回してください。



注意

- ブラシの先にスチールウールをからませる場合は下地が傷つく場合がありますので、ご注意ください。
- 床を洗浄する際は床材の耐熱温度を確認してください。

■ハンドブラシを使用する場合



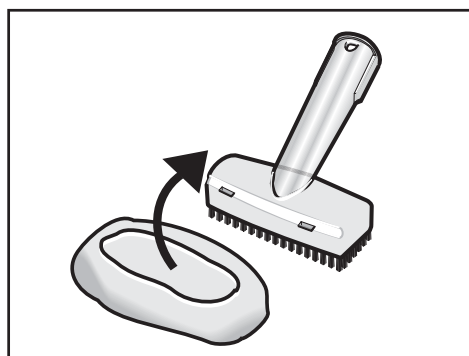
ハンドブラシを取り付ける

スチームガン先端の突起部分をハンドブラシに差し込んでください。

ロックボタンが“カチ”と音がします。

取り外し方

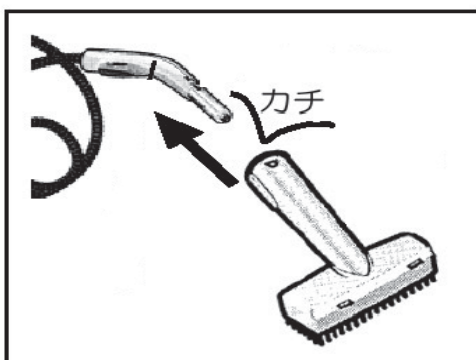
ロックボタンを押しながら引き抜いてください。



カバーを取り付ける

カバーにハンドブラシを被せてください。

■フロアブラシを使用する場合



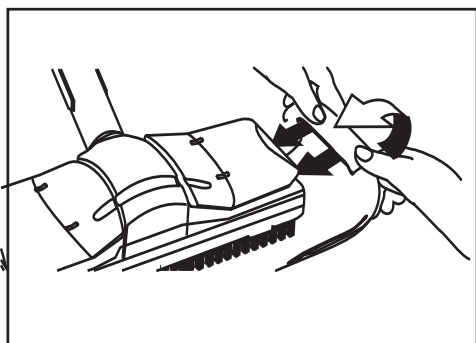
フロアブラシを取り付ける

スチームガン先端の突起部分をフロアブラシに差し込んでください。

ロックボタンが“カチ”と音がします。

取り外し方

ロックボタンを押しながら引き抜いてください。

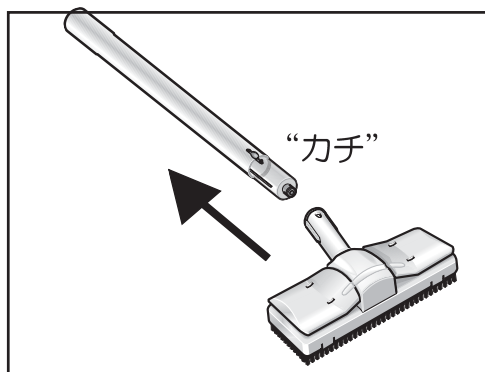


クロスを取り付ける

たるみのないように広げたクロスをフロアブラシの両サイドのクリップに挟み込んでください。

フローリング、樹脂製の床、石材の床、カーペット、タイル、畳などのあらゆる床材に使用できます。

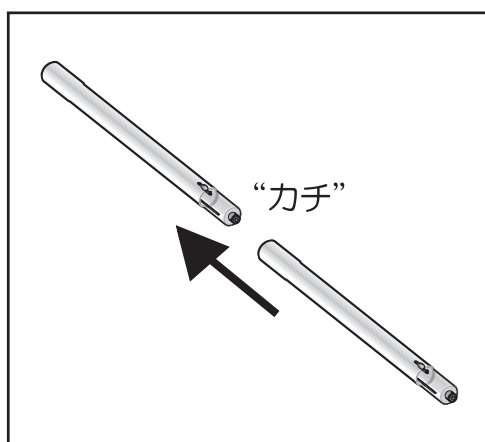
■延長パイプを使用する場合



延長パイプを取り付ける

延長パイプ先端の突起部分をフロアブラシに差し込んでください。

ロックボタンが“カチ”と音がします。



延長パイプの組み立て

延長パイプ先端の突起部分をもう一本の挿入部に差し込んでください。

ロックボタンが“カチ”と音がします。

取り外し方

ロックボタンを押しながら引き抜いてください。



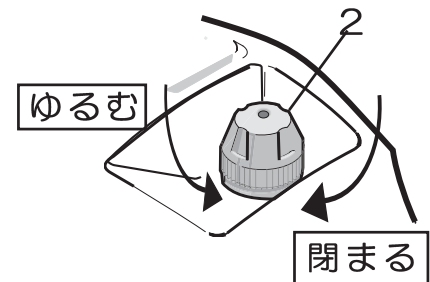
注意

■部分的に掃除する場合は、2秒以上同じ場所にスチームをあてないでください。

■ワイヤー入ガラス、厚板ガラスの掃除は、特にご注意ください。ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があります、思わぬケガをする場合があります。

水の補給

安全バルブ ② を外し水を2リットル補給し安全バルブをしっかりと閉めてください。



安全バルブのパッキンに損傷がある場合パッキンを交換してください。

サブタンクへの給水

ボイラーの水がなくなると、サブタンクから水が自動供給されます。

サブタンクキャップ ③ を外しじょうごを取り付け水を2リットル補給し、キャップをしっかりと閉めてください。



じょうご

使用中にサブタンクの水がなくなるとサブタンク警告灯 ⑨ が点灯しブザーが鳴ります。

作業を中断しサブタンクに給水してください。



注意

■水の入れすぎに注意しましょう

ボイラータンクに水を2リットル以上入れた状態で加熱するとヒートアップ（加熱）に時間がかかります。

■サブタンクへの水の補給

ゴミが入らないように必ずじょうご（33）を取り付け給水してください。サブタンクは必ず水を給水した状態で使用してください。水がない状態で使用した場合給水ポンプが空気噛み状態となり騒音を生じません。

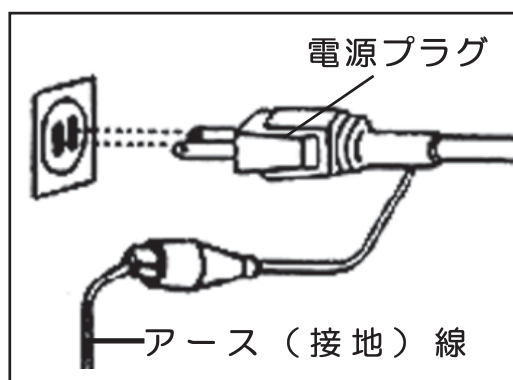
電源への接続

ヒータースイッチを切ってください。

スチームスイッチを切ってください。

本体ソケットに接続プラグがしっかり接続されているか確認してください。

取り付けが悪い場合ヒートアップに時間がかかります。



電源プラグをコンセントに差し込んでください。
アースを接続します。

アース（接地）は安全作業のために必ず接続してください。

特に、

- ・地下室など湿気の多い場所
 - ・土間、洗い場の床など水気のある場所
 - ・その他湿気の多い所や水気のある場所
- などで使用する際は十分に注意してください。

アース端子がない場合

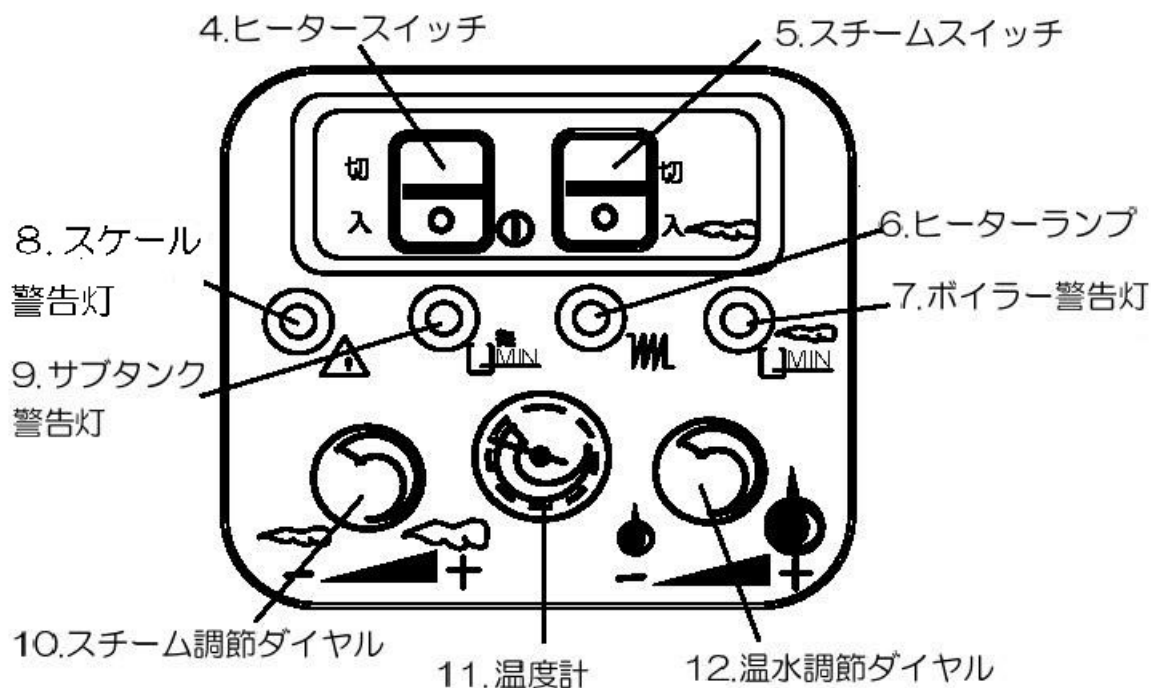
お買い上げの販売店もしくはお近くの電気工事店に依頼しD種設置工事（有料）を実施してください。

接続してはいけないところ

水道管やガス管（爆発や引火の危険があります！）

6 操作方法

操作方法



ヒータースイッチを入れてください。

- スイッチランプ点灯
 - ヒーターランプ点灯
- <タンク内加熱開始>

スチームスイッチを入れ約 15 分放置してください。

- スイッチランプ (点灯)

作業を行う目安

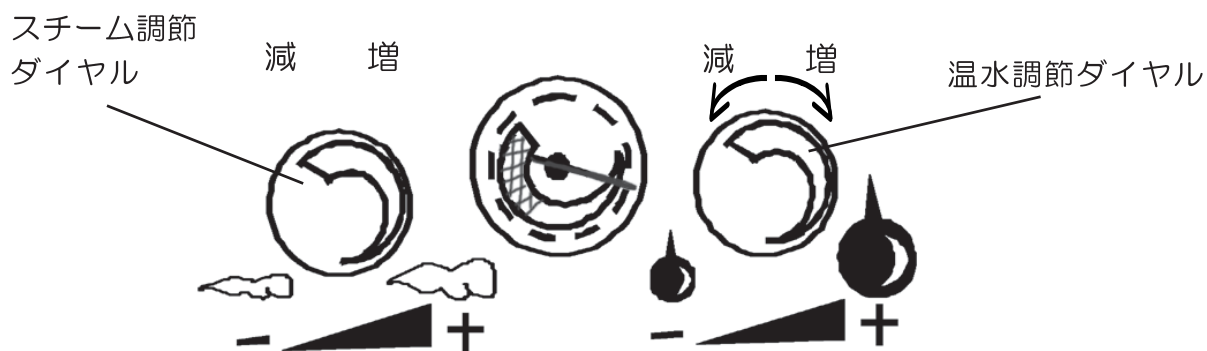
ボイラー温度が作業温度に達するとヒーターランプ が消灯します。

作業を行います。

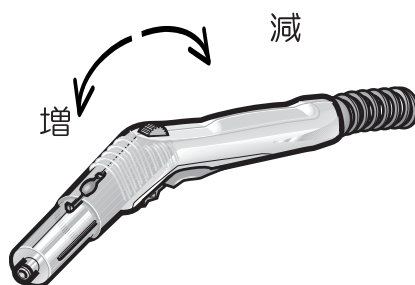
スチームレバーのロックを解除します。

スチームレバーを握ると、スチームが吐出します。

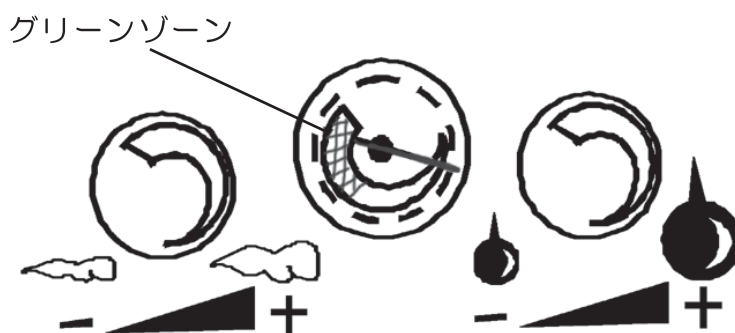
作業中はヒーターランプは常時点灯しボイラーを加熱します。



スチーム、温水の吐出量を調節します。
 スチーム調節ダイヤルでスチーム吐出量を調節してください。
 温水調節ダイヤルで温水の吐出量を調節してください。



スチームガンの吐出量調節ダイヤルを使い手元で吐出量を微調節できます。
 スチーム調節ダイヤルで調節した量以上は出ません。



作業中、温度

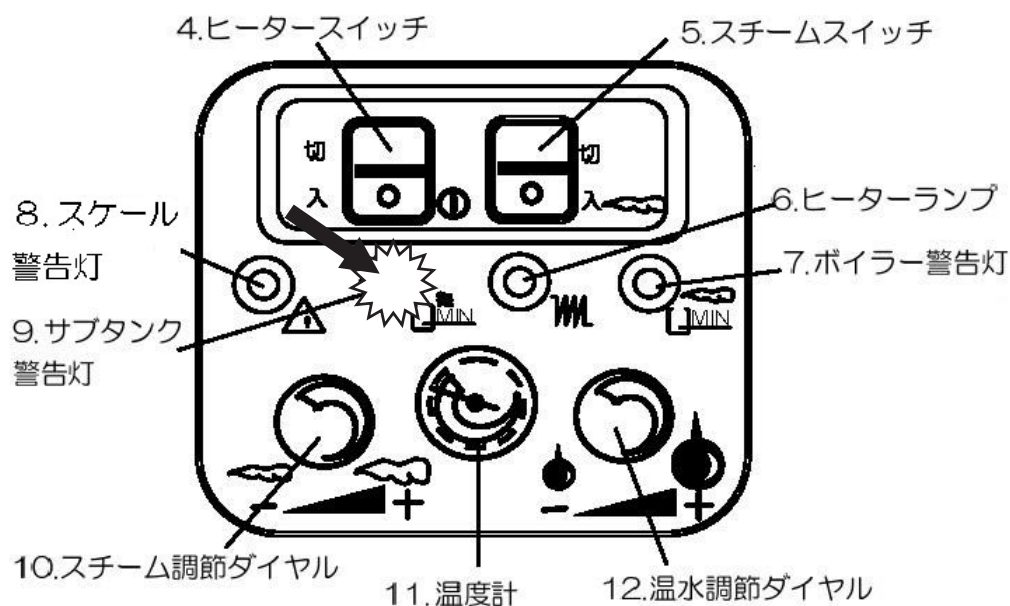
1～2分作業を中断しボイラー温度を上昇させてください。
 ヒーターランプが消灯（針がグリーンゾーン）した後作業を再開してください。



注意

温水を吐出する場合
 身体にかからないように注意すること

サブタンク警告灯が点灯した場合

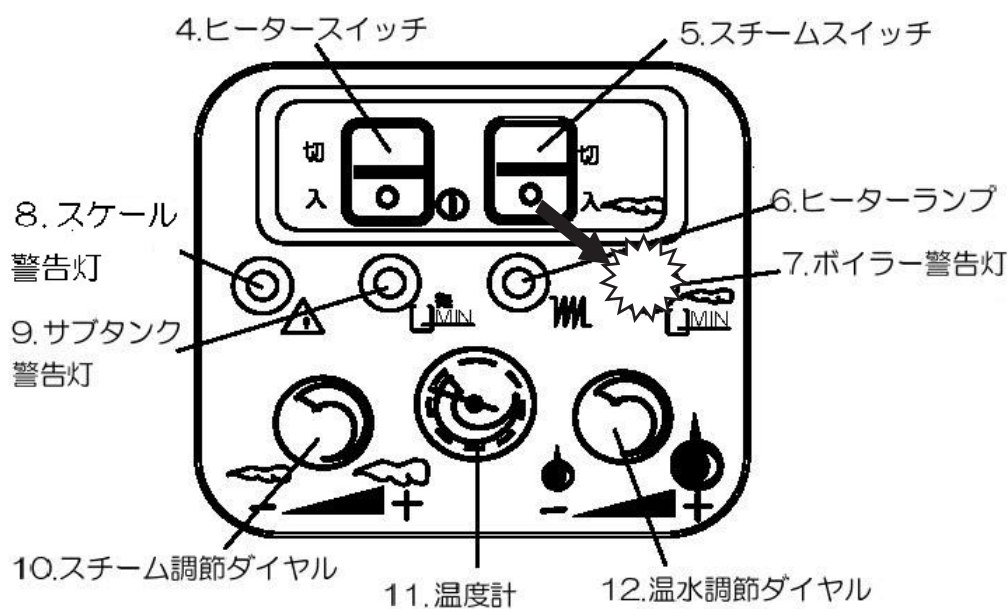


サブタンク警告灯点灯

<ブザーが約3秒間 鳴ります>

サブタンクのキャップを取り外ししょうごを取り付け、40℃以下の水を2リットルサブタンクに入れ、温度計がグリーンゾーンに移行するまで放置してください。

ボイラー警告灯が点灯



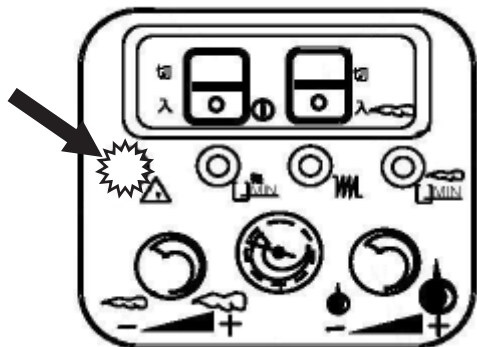
サブタンクに水を入れない状態で使用を続けると点灯します。
ボイラー警告灯<赤ランプ>が点灯します。

サブタンクに水を供給してください。

約 15 分間放置してください。

ヒーターランプ消灯後、使用を再開してください。

スケール警告灯が点灯

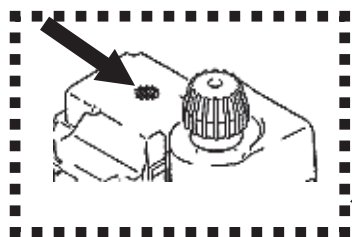


スケール警告灯が点灯

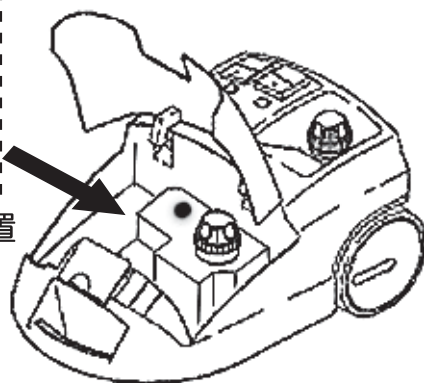
ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を用い洗浄を行ってください。

洗浄作業終了後

スケール警告灯が消えるまでサブタンク上部のリセットスイッチを押し続けてください。



リセットスイッチの位置



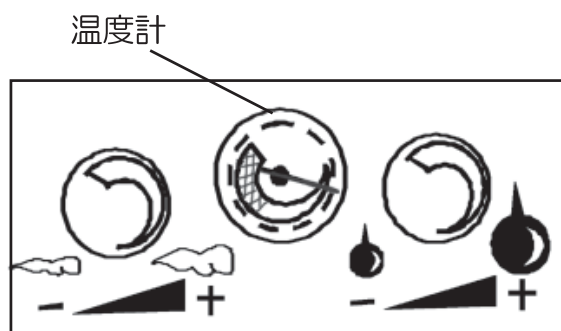
スチームの出が悪くなった場合

ボイラー警告灯 ⑦ が点灯しているか確認してください。

点灯した場合

「ボイラー警告灯が点灯した場合」に従って水を補給してください。

温度計の針がグリーンゾーンから外れている



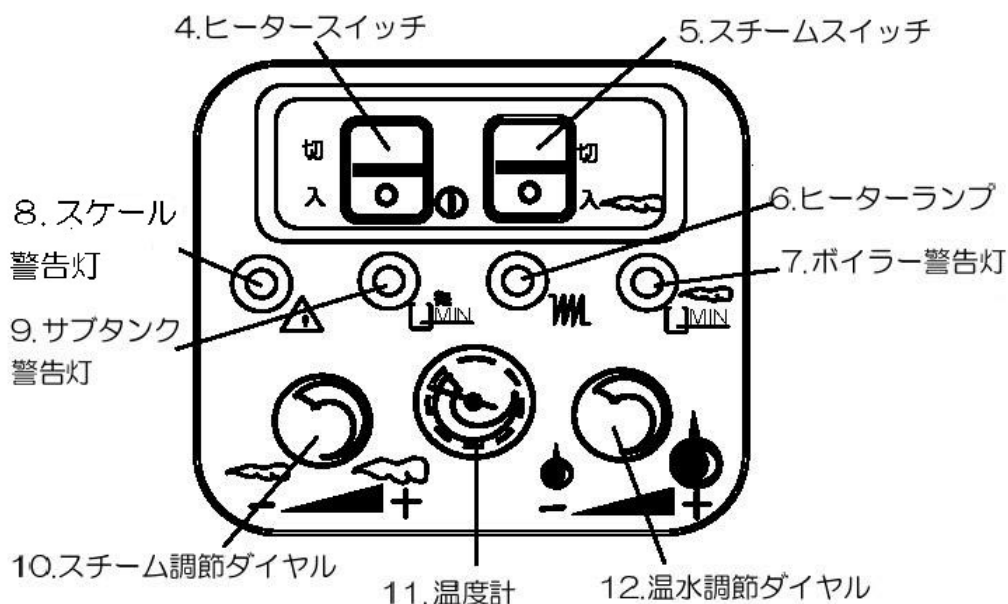
連続使用でボイラー温度が下がっています。

1～2分作業を中断してください。

温度計の針がグリーンゾーンに戻るまで放置してください（ヒーターランプが消えます）。

ヒーターランプが消灯した後作業を再開してください。

7 終了



ヒータースイッチを切ってください。

スイッチランプ消灯

ヒーターランプ消灯

スチームスイッチを切ってください。

スイッチランプ消灯


ハンドルのレバーロックを行ってください。

電源プラグをコンセントから抜いてください。

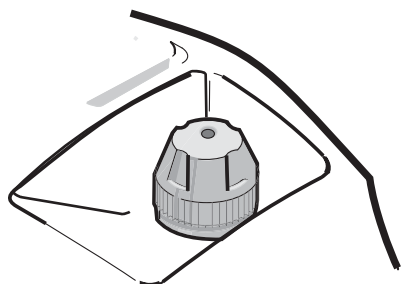
安全な場所に放置して、機械を冷ましてください。

機械を離れる場合

ヒータースイッチとスチームスイッチを切り一旦停止させ安全を確認してください。

	注意 機械を離れる場合 必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
---	---

排水



長期間使用しない場合はボイラー、サブタンクの水を抜き保管してください。

安全バルブが人肌以下に冷えたことを確認してください。安全バルブを取り外してください。

安全バルブは温度が下がり、ボイラー内圧が低下するまで取り外すことはできません。

安全バルブが人肌以下に冷めても外れない場合

<気圧が低い場合生じることがあります>

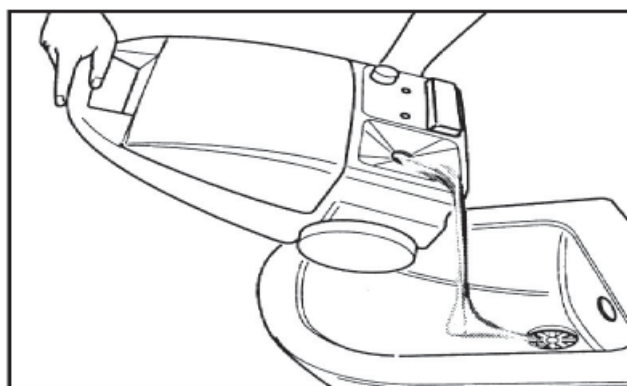
電源プラグをコンセントに差し込みます。

スチームスイッチを入れてください。

<ヒータースイッチは入れないこと>

ハンドルのレバーを握り内圧を開放してください。

内圧を出しきった後、安全バルブを取り外してください。



スイッチ部分に水がかからないように機械を傾け排水してください。



注意

完全に冷却させること

冷却が不十分な状態で安全バルブを開けた場合、残った湯が吹き出る場合があります、完全に冷却した後、残留水を捨ててください。

8 洗淨ポイント

用途	アクセサリ	洗淨のポイント
部分的に掃除したい ●しみ ●カーペットの起毛 （家具の跡をとる） ●アクセサリの汚れ	ノズルヘッドのみ （ブラシを取り付けない）	しみやアクセサリの汚れは、汚れのすぐ横に布を置き、斜めに（布の方向に）スチームを噴射し、汚れを布に吹き飛ばす。
細かい汚れを落としたい ●スニーカーのゴムの部分の汚れ	ノズルヘッド （何も取り付けない）	スニーカーの汚れに予め洗剤を付けるとより効果的。
凸凹のある場所を掃除したい ●サッシ、レールの汚れ ●タイル目地のカビ	ノズルヘッド + ブラシ	洗淨後、汚れや水分を拭き取る。ブラシに洗剤を少し付けるとより効果的。
頑固な汚れを落としたい ●キッチンの油汚れ ●オーブンの汚れ ●換気扇 ●エンジンルーム	ノズルヘッド + ブラシ （ひどい汚れの場合はスチールウールをブラシにからませる）	力を加えすぎない。スチームを出しながら汚れを擦って浮き上がらせる。洗淨剤をブラシに付けて洗うとより効果的。
広い面を洗淨したい ●フローリング ●樹脂製の床 ●石材の床 ●カーペットタイル ●畳	延長パイプ（2本） + フロアブラシ	フロアブラシにクロスを取り付け、汚れをスチームで浮かせてクロスで拭き取る。



注意

材質に注意

スチームの温度は噴き出し口で約 100℃です。材質や耐熱温度によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。予め目立たないところでお試しく下さい。

9 トラブル対応

このようなとき	原因	対策
スチームが出ない！	電源が入っていない	電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。
	加熱していない	ヒータースイッチ入れて約15分加熱してください。
	水が不足している（ボイラー警告灯が点灯している）	水を補給してください。
	規定以外の延長コードを使用している	15 A仕様のコードを使用してください。
安全バルブが空回りして開かず、水が補給できない！	内部の圧力が上がりすぎている	5-10参照
	ヒータースイッチが切れていない	ヒータースイッチを切ってください。
スチームが出るまでに時間がかかりすぎる！	タンク内にスケール（湯あか）がこびりついている	タンクのすすぎ方を参照もしくはメンテナンスを依頼してください。

10 お手入れ



お手入れをする場合には必ず機械が冷めた状態で行ってください。
電源プラグを取り外した状態で行ってください。

●本体の汚れ

ぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞って拭き取ってください。

●クロスの汚れ

中性洗剤で洗い、乾かしてください。

●タンク内部のスケール（湯あか）

ボイラーのすすぎ

使用を重ねていくうちにボイラー内部にはスケール（湯あか）が付着し温度が上がりにくくなります。

スケールが付着するのを防ぐために、頻度に合わせてタンク内をすすいでください。

<軟水の場合>

通常の水道水は軟水です。使用15回ごとが目安です。

<硬水の場合>

地域により硬水の場合があります。所轄の水道局にお問い合わせください。

硬水の場合、使用5回ごとが目安です。

タンクのすすぎ方

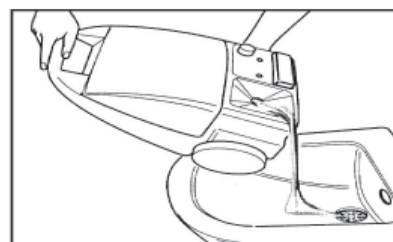
電源を抜き本体を完全に冷ましてください。

安全バルブを取り外してください。

ボイラー内に残っている水を全て捨ててください。

水道水をボイラーに入れ、本体を振りその後水を捨ててください。

<3回以上すすぎを行ってください。>



ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）の使用

使用約50回ごとに、タンク内部のスケール（湯あか）をボイラー洗浄剤（スケール除去剤）で取り除いてください。ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）のご注文はケルヒャージャパン各支店で承っております。

上記「タンクのすすぎ方」に従って、タンクをすすいでください。

ボイラー洗浄剤 3本を2リットルのぬるま湯で溶かした液をボイラーに満たしてください。余った液は捨ててください。

安全バルブを外した状態で一晩放置します。

タンク内部のボイラー洗浄剤（スケール除去剤）液を捨ててください。

すすぎ作業を3回以上行ってください。

※ サブタンクにはボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を入れないこと

※ ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）液をボイラーに入れたまま加熱しないこと

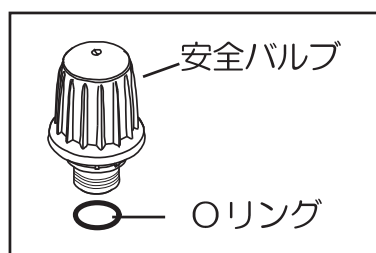
●安全バルブとOリング交換

安全バルブとOリングは消耗品です。本機を安全にご使用いただくために下記の使用頻度で交換を行ってください。

Oリング：約200時間ごと

安全バルブ：約500作業時間ごと

Oリングが損傷するとスチームもれなどを引き起こす恐れがあります。



●定期点検のご案内

本機の耐用時間は1000作業時間です。

本機を安全にご使用いただくために、作業時間の累積が1000時間を越えた場合は、ケルヒャーサービスエンジニアによる点検を受けてください。

※点検費用は有料です。

下記の部品は定期的な交換が必要になります。

ご使用頻度に合わせて500時間、1000時間ごとに有償点検実施の依頼をケルヒャーサービスエンジニアまでお申しつけください。

ボイラー	1000作業時間後
圧力センサー	500作業時間後
安全バルブ	500作業時間後



作業時間とは、保温状態の累積時間です

1 1 保管

保管前に必ずお手入れをしてください。

必ずタンク内の水を抜いた状態で保管してください。

必ず安全バルブを閉めた状態で保管してください。

必ず屋内のホコリのかからない、凍結しない場所に保管してください。

もし、凍結してしまった場合は、自然に解凍してください。

本体カバーを開くと、収納スペースがあります。

ノズルヘッドやブラシなどの小型アクセサリーを保管するのにご使用ください。

12 ユーザー保証について

ユーザー登録をされた場合のみ1年間の保証が適用されます。
保証規定は保証書をご確認ください。

修理・製品に関するお問い合わせ サービスフロント

TEL：022-344-3146 又は 022-344-3164
へお問い合わせください。
お近くの修理センターをお知らせいたします。

ケルヒャー ジャパン株式会社

本社： 宮城県黒川郡大和町松坂平3丁目2番

TEL (022)344-3140

支店	住所	電話番号
札幌支店	北海道札幌市白石区本通19丁目北1番55号	(011) 865-1951
仙台支店	宮城県黒川郡大和町松坂平3丁目2番	(022) 344-3190
宇都宮営業所	栃木県宇都宮市平松本町372番1号	(028) 651-1680
東京支店	埼玉県さいたま市南区白幡3丁目12番21号	(048) 710-8788
横浜営業所	神奈川県横浜市港北区新羽町2076-1	(045) 534-0226
名古屋支店	愛知県名古屋市北区真畔町56番地	(052) 919-0170
大阪支店	大阪府摂津市鳥飼上4丁目2番26号	(072) 650-1395
広島支店	広島県広島市安佐北区落合2丁目41番22号	(082) 841-4120
福岡支店	福岡県糟屋郡宇美町ゆりが丘2丁目6番1号	(092) 934-2811
鹿児島営業所	鹿児島県鹿児島市東開町3番33号	(099) 284-9393